

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

S. TAMAI

7/10/01

A2

①65348

10f1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 7月14日

出願番号
Application Number:

特願2000-215247

出願人
Applicant(s):

日本電気株式会社

JC821 U.S. PTO
09/900892

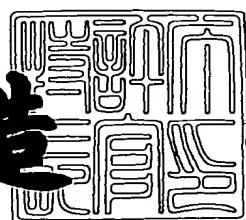


07/10/01

2001年 2月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3011549

【書類名】 特許願

【整理番号】 85600003

【提出日】 平成12年 7月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝5丁目7番1号
日本電気株式会社内

【氏名】 玉井 智

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100099830

【弁理士】

【氏名又は名称】 西村 征生

【電話番号】 048-825-8201

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 038106

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9407736

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 自家用車の個別貸借方法、自家用車の個別貸借システム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1のディーラ端末、ディーラサーバ、第2のディーラ端末、及び通信回線を備えた自家用車の個別貸借システムにおいて、

第1の顧客の所有する自家用車が使用されない不使用期間を表す不使用期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記不使用期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を前記第1のディーラ端末が生成して第1の顧客情報として前記通信回線へ送出する第1の顧客情報送出処理と、

前記ディーラサーバが前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する自家用車空き情報送出処理と、

前記第2のディーラ端末が前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する借用希望情報送出処理と、

前記ディーラサーバが前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する借用希望情報転送処理とを行うことを特徴とする自家用車の個別貸借方法。

【請求項2】 第1のディーラ端末、ディーラサーバ、第2のディーラ端末、及び通信回線を備えた自家用車の個別貸借システムにおいて、

第1の顧客の所有する自家用車を使用しない旅行予定期間を表す旅行予定期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記旅行予定期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を前記第1のディーラ端末が生成して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1の顧客情報送出処理と、

前記ディーラサーバが前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地

域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する自家用車空き情報送出処理と、

前記第2のディーラ端末が前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する借用希望情報送出処理と、

前記ディーラサーバが前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する借用希望情報転送処理とを行うことを特徴とする自家用車の個別貸借方法。

【請求項3】 前記通信回線は、

前記第1のディーラ端末、ディーラサーバ、及び第2のディーラ端末を有する組織内に設けられたインターネットで構成されていることを特徴とする請求項1又は2記載の自家用車の個別貸借方法。

【請求項4】 第1の顧客の所有する自家用車が使用されない不使用期間を表す不使用期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記不使用期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を生成して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1のディーラ端末と、

前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する第1のディーラサーバと、

前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する第2のディーラ端末と、

前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づ

いて前記自家用車空き情報を更新する第2のディーラサーバとを備えたことを特徴とする自家用車の個別貸借システム。

【請求項5】 第1の顧客の所有する自家用車を使用しない旅行予定期間を表す旅行予定期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記旅行予定期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を入力して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1のディーラ端末と、

前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する第1のディーラサーバと、

前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する第2のディーラ端末と、

前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する第2のディーラサーバとを備えたことを特徴とする自家用車の個別貸借システム。

【請求項6】 前記通信回線は、

前記第1のディーラ端末、第1のディーラサーバ、第2のディーラ端末及び第2のディーラサーバを有する組織内に設けられたインターネットで構成されていることを特徴とする請求項4又は5記載の自家用車の個別貸借システム。

【請求項7】 コンピュータに請求項1、2又は3記載の自家用車の個別貸借方法を実施させるための制御プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項8】 コンピュータに請求項4、5又は6記載の自家用車の個別貸借システムの機能を実現させるための制御プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、自家用車の個別貸借方法に係り、例えば、旅行者が旅行先で空いている他人の自家用車を貸借する場合などに用いて好適な自家用車の個別貸借方法、自家用車の個別貸借システム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

旅行者が旅行先で自動車を貸借する場合、貸し自動車会社の営業拠点で貸し自動車（以下、「レンタカー」という）を借りて使用することになる。

【0003】

この種のレンタカーのレンタルシステムは、例えば図4に示すように、ディーラ端末1及びデータベース2を備えている。ディーラ端末1は、例えば、パーソナルコンピュータなどで構成され、旅行者のレンタカーに関する希望条件などを同旅行者又はディーラの操作に基づいて入力する。データベース2は、例えば、ハードディスクなどの記憶装置で構成され、レンタカーの在庫状況などの情報を蓄積する。

【0004】

このレンタルシステムでは、旅行者が貸し自動車会社の拠点を訪れたとき、ディーラ端末1に同旅行者のレンタカーに関する希望条件が入力され、データベース2内の情報が検索されて同希望条件に添ったレンタカーの在庫があれば、同レンタカーが同旅行者に貸し出される。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来のレンタルシステムでは、次のような問題点があった。
すなわち、レンタカーは、貸し自動車会社が保有する自動車のみであり、旅行者が希望する車種のレンタカーの在庫が不足している状態になることが多いという問題があった。

【0006】

この発明は、上述の事情に鑑みてなされたもので、旅行者が旅行先で希望する自動車を容易に賃借できる自家用車の個別貸借方法、自家用車の個別貸借システム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1記載の発明は、自家用車の個別貸借方法に係り、第1のディーラ端末、ディーラサーバ、第2のディーラ端末、及び通信回線を備えた自家用車の個別貸借システムにおいて、第1の顧客の所有する自家用車が使用されない不使用期間を表す不使用期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記不使用期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を前記第1のディーラ端末が生成して第1の顧客情報として前記通信回線へ送出する第1の顧客情報送出処理と、前記ディーラサーバが前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する自家用車空き情報送出処理と、前記第2のディーラ端末が前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する借用希望情報送出処理と、前記ディーラサーバが前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する借用希望情報転送処理とを行うことを特徴としている。

【0008】

請求項2記載の発明は、自家用車の個別貸借方法に係り、第1のディーラ端末、ディーラサーバ、第2のディーラ端末、及び通信回線を備えた自家用車の個別貸借システムにおいて、第1の顧客の所有する自家用車を使用しない旅行予定期

間を表す旅行予定期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記旅行予定期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を前記第1のディーラ端末が生成して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1の顧客情報送出処理と、前記ディーラサーバが前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する自家用車空き情報送出処理と、前記第2のディーラ端末が前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する借用希望情報送出処理と、前記ディーラサーバが前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する借用希望情報転送処理とを行うことを特徴としている。

【0009】

請求項3記載の発明は、請求項1又は2記載の自家用車の個別貸借方法に係り、前記通信回線は、前記第1のディーラ端末、ディーラサーバ、及び第2のディーラ端末を有する組織内に設けられたインターネットで構成されていることを特徴としている。

【0010】

請求項4記載の発明は、自家用車の個別貸借システムに係り、第1の顧客の所有する自家用車が使用されない不使用期間を表す不使用期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記不使用期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を生成して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1のディーラ端末と、前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する第1のディーラサーバと、前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が

可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する第2のディーラ端末と、前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する第2のディーラサーバとを備えたことを特徴としている。

【0011】

請求項5記載の発明は、自家用車の個別貸借システムに係り、第1の顧客の所有する自家用車を使用しない旅行予定期間を表す旅行予定期間情報、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記旅行予定期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を入力して第1の顧客情報として通信回線へ送出する第1のディーラ端末と、前記第1の顧客情報を前記通信回線を介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報を生成して前記通信回線へ送出する第1のディーラサーバと、前記自家用車空き情報を前記通信回線を介して入力し、前記自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の第2の顧客に前記自家用車空き情報を提示し、前記第2の顧客が前記自家用車空き情報を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報を生成して前記通信回線へ送出する第2のディーラ端末と、

前記借用希望情報を前記通信回線を介して入力し、前記借用希望情報を前記通信回線を介して第1のディーラ端末へ転送すると共に、前記借用希望情報に基づいて前記自家用車空き情報を更新する第2のディーラサーバとを備えたことを特徴としている。

【0012】

請求項6記載の発明は、請求項4又は5記載の自家用車の個別貸借システムに係り、前記通信回線は、前記第1のディーラ端末、第1のディーラサーバ、第2のディーラ端末及び第2のディーラサーバを有する組織内に設けられたインターネットで構成されていることを特徴としている。

【0013】

請求項7記載の発明は、記録媒体に係り、コンピュータに請求項1、2又は3記載の自家用車の個別貸借方法を実施させるための制御プログラムを記録したこ

とを特徴としている。

【0014】

請求項8記載の発明は、記録媒体に係り、コンピュータに請求項4、5又は6記載の自家用車の個別貸借システムの機能を実現させるための制御プログラムを記録したことを特徴としている。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、この発明の実施の形態について説明する。

図1は、この発明の実施形態である自家用車の個別貸借方法を実施するための自家用車の個別貸借システムの一例を示す構成図である。

この形態の自家用車の個別貸借システムは、同図に示すように、第1のディーラ端末11、第1及び第2のディーラサーバ12、及び第2のディーラ端末13を備えている。ディーラ端末11は、例えば、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置で構成され、同ディーラ端末11全体を制御する中央処理装置（以下、「CPU」という）11a及びCPU11aを動作させるための制御プログラムが記録された記録媒体（例えば、リード・オンリ・メモリ、以下、「ROM」という）11bを有している。ディーラ端末11は、第1の顧客（以下、「顧客A」という）が居住する地域に設けられた自家用車の貸借業者の営業拠点等に設置され、顧客Aの所有する自家用車が使用されない不使用期間（例えば、顧客Aが長期出張などで自家用車を使用しない旅行予定期間）を表す不使用期間情報（例えば、旅行予定期間情報）、前記自家用車の車種を表す自家用車情報、及び前記不使用期間における前記自家用車の格納場所を表す格納情報を生成して第1の顧客情報I11として通信回線（例えば、インターネット）TNへ送出する。

【0016】

ディーラサーバ12は、自家用車の貸借業者の営業本部等に設置されているパーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、同ディーラサーバ12全体を制御するCPU12a及びCPU12aを動作させるための制御プログラムが記録されたROM12bを有している。ディーラサーバ12は、顧客情報I11をインターネットTNを介して入力し、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車

空き情報I12を生成してデータベース12cに蓄積すると共にインターネットTNへ送出する。データベース12cは、例えば、ハードディスクなどで構成されている。

【0017】

ディーラ端末13は、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、同ディーラ端末11全体を制御するCPU13a及びCPU13aを動作させるための制御プログラムが記録されたROM13bを有している。ディーラ端末13は、第2の顧客（以下、「顧客B」という）が居住する地域に設けられた自家用車の貸借業者の営業拠点等に設置され、自家用車空き情報I12をインターネットTNを介して入力し、顧客Aの所有する自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の顧客Bに同自家用車空き情報I12を提示し、同顧客Bが同自家用車空き情報I12を閲覧して借用が可能な自家用車が存在する場合、該自家用車の借用の希望を表す借用希望情報I13を生成してインターネットTNへ送出する。また、ディーラサーバ12は、借用希望情報I13をインターネットTNを介して入力し、同借用希望情報I13をインターネットTNを介してディーラ端末11へ転送すると共に、同借用希望情報I13に基づいて自家用車空き情報I12を更新する。

【0018】

図2は、この形態の自家用車の個別貸借方法を説明するためのシーケンス図、及び図3が自家用車空き情報I12の一例を示す図である。

である。

これらの図を参照して、この形態の自家用車の個別貸借方法について説明する。

顧客A又はディーラ端末11を操作する営業担当者の操作に基づき、同顧客Aが自家用車を使用しない旅行予定期間を表す旅行予定期間情報（例えば、「1か月」）、同自家用車の車種や年式を表す自家用車情報（例えば、「1999年式」、「セダン」、「クーペ」、「ワゴン」、「4輪駆動車」など）、及び顧客Aの旅行予定期間における同自家用車の格納場所を表す格納情報（例えば、「顧客Aの自宅」、「ディーラの営業拠点」など）がディーラ端末11で生成され、第

1の顧客情報I11としてインターネットTNへ送出される（ステップS1、第1の顧客情報送出処理）。第1の顧客情報I11は、インターネットTNを介してディーラサーバ12に入力されて解析され、図3に示すように、地域毎の自家用車の空き状況を表す自家用車空き情報I12が生成されてインターネットTNへ送出される（ステップS2、自家用車空き情報送出処理）。

【0019】

自家用車空き情報I12は、インターネットTNを介してディーラ端末13に入力され、顧客Aの自家用車の格納場所が存在する地域を訪れる予定の顧客Bに自家用車空き情報I12が提示される。そして、顧客Bが自家用車空き情報I12を閲覧し、借用が可能な自家用車が存在する場合、同自家用車の借用の希望を表す借用希望情報I13がディーラ端末13で生成されてインターネットTNへ送出される（ステップS3、借用希望情報送出処理）。この場合、例えば、顧客Bの氏名、年齢、同行者の人数、希望借用期間、想定走行距離及び希望賃貸料金がディーラ端末13に入力されて自家用車空き情報I12に基づいて解析され、借用が可能な自家用車の有無が判定される。

【0020】

借用希望情報I13は、インターネットTNを介してディーラサーバ12に入力され、同借用希望情報I13がインターネットTNを介してディーラ端末11へ転送されると共に、借用希望情報I13に基づいて自家用車空き情報I12が更新される（ステップS4、借用希望情報転送処理）。この場合、顧客Bが顧客Aの自家用車を借用する予定の期間及び車種を表す情報が自家用車空き情報I12から削除される。ディーラ端末11では、借用希望情報I13が表示され、営業担当者から顧客Aに自家用車の借用を希望する旨が連絡される。そして、顧客Aが自家用車の貸出しを承認すれば、ディーラを介して貸借契約が成立する。その後、顧客Bは、顧客Aの所有する自家用車の格納場所が存在する地域を訪れたとき、この自家用車を借用する。

【0021】

以上のように、この実施形態では、顧客Aの旅行予定期間情報を含む第1の顧客情報I11をディーラサーバ12に入力し、自家用車空き情報I12をディー

ラ端末13を介して顧客Bに提示するようにしたので、同顧客Bは旅行先で希望の自動車を賃借できる。更に、顧客Aは、使用しない自家用車を有効に活用できる。その上、自動車のディーラは、顧客Aの自家用車に関する情報（例えば、車種、年式等）を把握でき、この情報を新車の販売活動に利用できる。

【0022】

以上、この発明の実施形態を図面により詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの発明に含まれる。例えば、ディーラ端末11、13の数は、任意数で良い。また、ディーラ端末11、13は、パーソナルコンピュータに限らず、専用に製作された端末で構成しても良い。また、実施形態では、顧客Aが貸出者、及び顧客Bが借用者になっているが、逆でも良い。また、通信回線は、インターネットTNの他、インターネットでも良い。但し、この場合、第1の顧客情報I11、自家用車空き情報I12、及び借用希望情報I13に顧客A、Bの個人情報が含まれることがあるので、これらの各情報を暗号化するためのファイアウォールの機能をディーラサーバ12に付加し、かつディーラ端末11、13には、暗号化された情報を解読する機能を設ける必要がある。

【0023】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明の構成によれば、第1の顧客の旅行予定期間情報を含む第1の顧客情報を第1のディーラサーバに入力し、自家用車空き情報を第2のディーラ端末を介して第2の顧客に提示するようにしたので、同第2の顧客は旅行先で希望の自動車を賃借できる。更に、第1の顧客は、使用しない自家用車を有効に活用できる。その上、自動車のディーラは、顧客の自家用車に関する情報（例えば、車種、年式等）を把握でき、この情報を新車の販売活動に利用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明の実施形態である自家用車の個別賃借方法を実施するための自家用車の個別賃借システムの一例を示す構成図である。

【図2】

同自家用車の個別貸借方法を説明するためのシーケンス図である。

【図3】

自家用車空き情報I 1 2の一例を示す図である。

【図4】

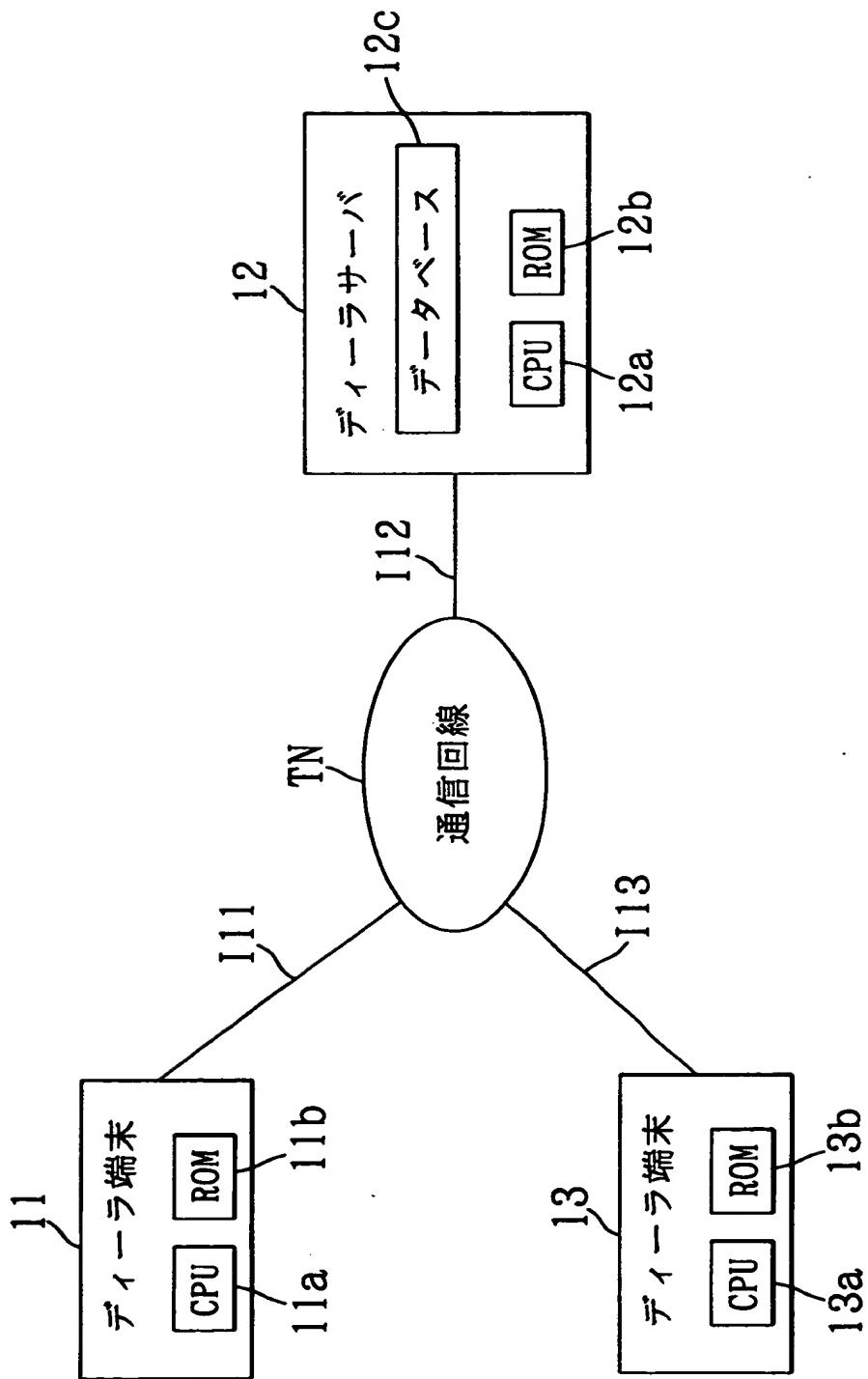
貸し自動車のレンタルシステムの構成図である。

【符号の説明】

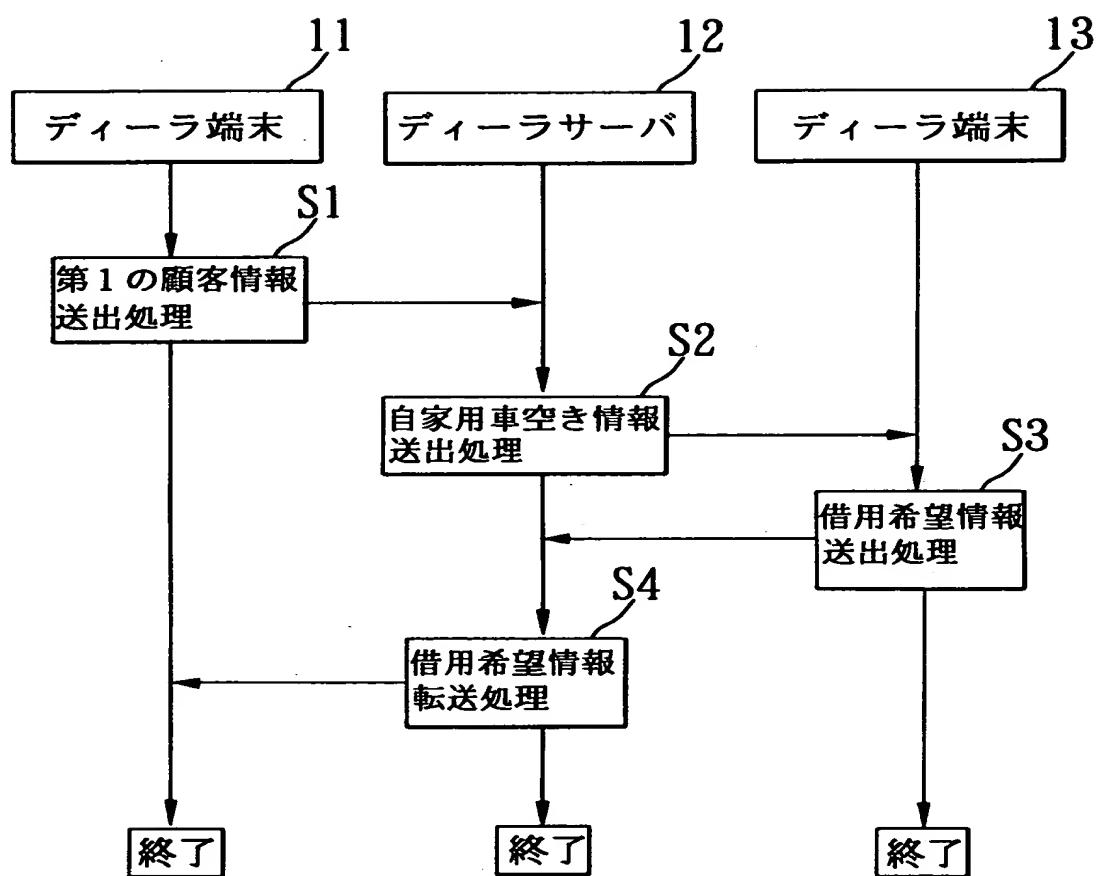
| | |
|---------------------|---------------|
| 1 1, 1 3 | ディーラ端末 |
| 1 1 b, 1 2 b, 1 3 b | ROM |
| 1 2 | ディーラサーバ |
| T N | インターネット（通信回線） |
| S 1 | 第1の顧客情報送出処理 |
| S 2 | 自家用車空き情報送出処理 |
| S 3 | 借用希望情報送出処理 |
| S 4 | 借用希望情報転送処理 |

【書類名】 図面

【図1】



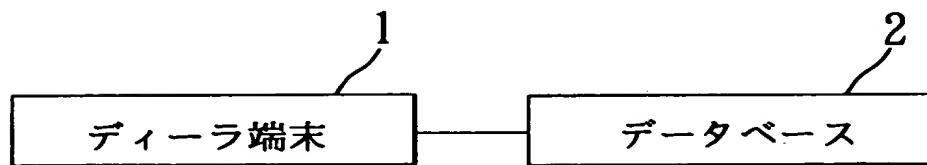
【図2】



【図3】

| 地域 | 旅行予定期間 | 車種 | 格納場所 |
|----|--------|--------------|--------|
| W市 | 1ヶ月 | 1999年式、セダン | 営業拠点 |
| X市 | 2週間 | 1998年式、クーペ | 顧客Aの自宅 |
| Y市 | 2週間 | 1997年式、ワゴン | 顧客Aの自宅 |
| Z市 | 1週間 | 1999年式、4輪駆動車 | 営業拠点 |

【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 旅行者が旅行先で他人の自家用車を賃借するための自家用車の個別貸借方法を提供する。

【解決手段】 顧客Aが自家用車を使用しない旅行予定期間情報を含む第1の顧客情報I11が送出される（ステップS1）。第1の顧客情報I11は、ディーラサーバ12に入力され、地域毎の自家用車空き情報I12が生成される（ステップS2）。自家用車空き情報I12は、ディーラ端末13に入力され、第1の顧客の自家用車が存在する地域を訪れる予定の顧客Bに自家用車空き情報I12が提示される。顧客Bは、自家用車空き情報I12を閲覧し、借用が可能な自家用車が存在する場合、借用希望情報I13が送出される（ステップS3）。借用希望情報I13は、ディーラサーバ12に入力されてディーラ端末11へ転送され（ステップS4）、顧客Aに自家用車の借用を希望する旨が連絡される。

【選択図】 図2

出願人履歴情報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名 日本電気株式会社